

浪人支部長 奮迅記



汗と涙の

猛暑の松本平を巡ってポスターを設置していたら側溝に転落、両足と左肘に打撲傷を負った。その姿を見ていた市民から「支部長さんも大変ね」との激励を受ける。選挙とは、「有権

務台 俊介支部長 党長野県第2選挙区

(長野市の一部・松本市・大町市・安曇野市・東筑摩郡・北安曇郡・上水内郡)

者の方のお気持ちをご頂戴すること」という言葉を、第2選挙区
の先輩代議士の村井仁先生(前
長野県知事)から頂いた。この
言葉を噛みしめながら、日々の
活動を行っている。

昨年の政権交代選挙から丸1
年が経過した。あつという間の
1年で、新人で落選した身の上

それでも、政権交代後1年の
民主党の政権運営には、幻滅し
ている有権者が多い。しかし、
だから自民党に政権を戻す、と
いうところに単純に行かないの
が難しいところだ。

この3カ月間に、参院選、
長野県知事選があった。私も全
力で広い選挙区を走り回って応

「地域再生」を掲げて 現場の声を聞く地道な活動

の厳しさを現在進行形で実感し
ている。

日々接する有権者から「自民
党にしつかりしてもらわなくて
はならない。次は頑張れ」との
激励の言葉を頂く一方、「まだ
まだ自民党は反省が足りない。

徹底的に反省するまで野に居続
けさせるからな」との厳しい指
摘も受ける。

援した。参院選はわが党公認の
若林健太氏がトップ当選した
が、長野2区に限ってみると、
衆議院総選挙時の私の得票率よ
りも少なかった。自民党の退潮
傾向は変わっていないと言わざ
るを得ない。

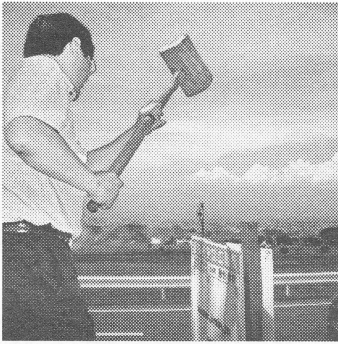
国政選挙のように党派で争う
選挙は有権者の支持政党の選り
好みを問う度合いが強いのだ

女性看護師さんと介護問題につい
て意見交換する務台俊介支部長



が、今、自分にできるのは「地
域再生」を掲げて、現場の声を
聞く地道な活動だ。

村井仁元代議士が引退した
後、空白期間があったこの選挙
区に私自身は2年以上居住し、
ようやく地に足のついた動きが
できるようになってきた。後援
会組織も市町村・地区ごとに結
成しつつ、広報板・ポスターの
着実な設置、朝夕の街頭演説、
ミニ集会、メルマガの毎週発行
や各地での講演会など、近いと
言われただしの総選挙に向けてや
るべきことを積み重ねている。



松本市郊外でポスター設置のため
杭を立てる務台俊介支部長